Central Daily Market Report

2020年1月21日（火）
セントラル短資株式会社　総合企画部

●資金需給

単位：億円	2020年1月21日 需給速報		2020年1月22日 需給予想		2020年1月23日 当社予想	
銀行券	1,400		900		0	
財政	▲ 800		▲ 3,300		▲ 6,000	
資金過不足	600		▲ 2,400		▲ 6,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入	8,200					
CP等買入		▲ 100		▲ 200		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入						
ＥＴＦ買入	100		600			
国債補完供給	▲ 100	100		100		
当預増減	8,800		▲ 1,900		▲ 6,000	

当座預金残高	3,974,200	3,972,300	3,966,300
準備預金残高	3,449,800		
積み終了先	3,445,200		
超過準備	3,443,000		
非準備預金先	524,400		

1月22日以降の残り所要積立額	
積数	21,200
1日平均	800

積み期間（1/16～2/15）の所要準備額			3,239,300
準備預金進捗率	実績	99.35%	日数 19.35%

●2020年1月21日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、昨日に引き続き資金調達意欲が強く、高い水準での取引が中心となった。立ち上がりは地銀・証券業態から▲0.02～▲0.005%、都銀・信託業態から▲0.07～▲0.04%のビッド。出合いの中心は▲0.05～▲0.005%のレンジとなった。一巡後は▲0.055～▲0.01%近辺で散発的な出合いが見られた程度で本日の取引を終えた。ターム物は、オファーサイドが少なく閑散なマーケットとなった。

<レポ市場>

GC T/N(1/22-1/23)は、▲0.085～▲0.055%程度での出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では2Y402～407、10Y335～357、5Y136～142、20Y167～170、30Y59～65、40Y9～12等にビッドの出入りがあった。

<短国市場>

現先レート(T/N)は、レート低下。アウトライト市場は、6M物で▲0.140%の出合いが見られた。その他に、1Y物の既発債に散発的な買いが見られた。

<CP市場>

現先レートは低位で推移した。発行市場は、案件は膨らまないものの、食料品業態1社でまとまった額の調達が行われ、発行総額は1,500億円程度と償還総額の500億円程度を上回った。発行レートについては、引き続き0%近辺で推移した。

●短期金融市場関連指標

2020/1/21	無担（速報）			有担（速報）			短国	東京レポレート
単位：%	最低	最高	平均	最低	最高	平均	売買参考統計値	平均値
O/N	▲ 0.070	0.001	▲ 0.018				－	▲ 0.070
T/N							－	▲ 0.064
S/N							－	－
1W	▲ 0.005	0.002	▲ 0.003				－	▲ 0.061
2W	▲ 0.030	▲ 0.005	▲ 0.009				－	▲ 0.063
3W							－	▲ 0.065
1M							－	▲ 0.070
3M							▲ 0.130	▲ 0.095
6M							▲ 0.140	▲ 0.134
1Y							▲ 0.141	▲ 0.159

JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
▲ 0.010	▲ 0.015	23,864.56	▲ 218.95	110.17-19	109.97-98

日付	1/14	1/15	1/16	1/17	1/20
日銀当預残	3,982,400	3,978,400	3,965,700	3,970,800	3,965,400
準備預金残	3,485,000	3,480,700	3,454,300	3,456,400	3,440,900
マネタリーベース	5,134,800	5,128,300	5,113,800	5,116,500	5,109,300
無担O/N加重平均	▲0.028%	▲0.016%	▲0.042%	▲0.023%	▲0.018%
コール市場残高	106,414	110,510	93,356	103,691	99,464
うち無担	85,267	91,352	73,386	84,271	80,805
うちO/N	56,862	62,347	49,376	59,411	54,215
うち有担	21,147	19,158	19,970	19,420	18,659

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額（億円）	募入額（億円）	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第Ｉ非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額（億円・百万ドル）	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額（億円・百万ドル）	落札総額（億円・百万ドル）	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給（国債売現先）・即日（午前オファー分）		2020/1/21	2020/1/22	▲ 0.350	68	68		▲0.350	▲0.350	

●2020年1月22日の予定

*月例経済報告
*米国12月の中古住宅販売
*流動性供給入札（6,000億円、1/23発行）
*交付税特別会計借入（10,500億円、1/30借入）

●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
(1)長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）（賛成7反対2）
短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし（金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する）、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとしつつ、弾力的な買入れを実施する。
(2)資産買入れ方針（全員一致）（長期国債以外の資産の買入れについて）
①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。
その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。
②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。
セントラル短資株式会社　登録金融機関関東財務局長（登金）第526号　日本証券業協会加入